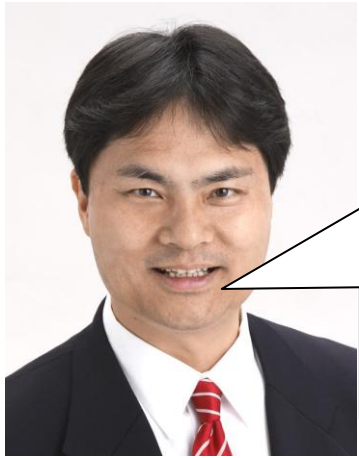


小池としあき後援会だより

平成24年10月25日発行 発行人：勝亦正人（通算第22号）



小池としあきが、9月定例議会で、 22回目の一般質問に臨みました！

今回は「市が所有する公共施設（建築物）のマネジメント」を質問で取り上げました。

高度成長期を中心に建築した公共施設が、今後更新時期を迎えようとする中で、「総量規制（これ以上、建物の総量を増やさない）を基本とする中長期的なマネジメント計画が必要では？」との観点から質問しました。

質問1 財政的な観点からの可能性について

●市が現在所有している建物全てを建替えようとするといくらかかり、その財政負担は？

①今後60年間において、市が所有している建物を同じ規模で建替え及び長寿命化のための大規模修繕を行う場合の概算費用は？

→(市長)解体・建替えに約2,300億円、大規模修繕に約1,300億円、計約3,600億円。さらにプラント施設である環境クリーンセンター、クリーンセンターききょうの更新と大規模修繕を含むと約4,400億円になると予想される。

②今後の財政に与える影響と建替え実施の可能性は？

→(市長)4,400億円を単純に60年で平均しても年間約73億円が必要。近年の公共事業への投資と修繕を合わせた経費の平均額は年間154億円。この内、公共建築物の建設・維持補修関連経費は年間約30億円である(このままでは毎年43億円の不足!)。今後の税込減や社会保障費の増などから推し量っても、**現有の建物を全て維持する費用を捻出することは非常に難しい。**



富士市役所庁舎



今泉まちづくりセンター

■小池としあきの市有建物の建替え・大規模修繕に係る経費試算 (私の試算より市当局の試算の方が高い結果《負担大》となりました)

種類	延床面積 (㎡)等	単価 (千円/㎡)	金額 (億円)	備考
建築物建替え	700,000	330	2,310	庁舎、学校、まちセン、消防、文化・スポーツ施設、その他
建築物大規模修繕	700,000	170	1,190	
環境クリーンセンター	1式		400	60年間で2回建直すと想定
クリーンセンターききょう	1式		110	
合計			4,010	

※中央病院、上下水道施設は企業会計であり今回の試算には含んでいません。

質問2 中長期的な公共施設のマネジメントのあり方について

●長寿命化、転用、複合化・合築、統廃合、民活等を踏まえた「公共施設マネジメント計画」を策定し、それに基づき取り組むべきでは？

■小学校と公民館を複合化・合築した事例

…焼津市立東益津小学校と公民館

- ・図書室と家庭科室を公民館と共用
- ・パソコン室、図工室、音楽室を地域に開放



①「公共施設マネジメント計画」を策定し、またマネジメントを一元的に担当する部署を設けるべきでは？

→(市長)まずは市の保有施設の総量や現状を把握するために進めている「公共施設保全計画」を優先し、その上で「公共施設マネジメント計画」のような長寿命化や統廃合等について具体的に定める「実行計画」を策定する。またそれを進めるには全庁的な視野でリーダーシップを発揮する部署が必要であり、検討していきたい。

(再提案) 現在取り組んでいる「公共施設保全計画」の中で取りまとめる「公共施設白書」は、その後の「マネジメント計画」策定の基礎資料として非常に重要である。施設(ハード)の現状に加え、各施設の運営コストや利用状況などについても調査、把握し、「施設の見える化」を進め、「実行計画」(マネジメント計画)につなげてほしい。



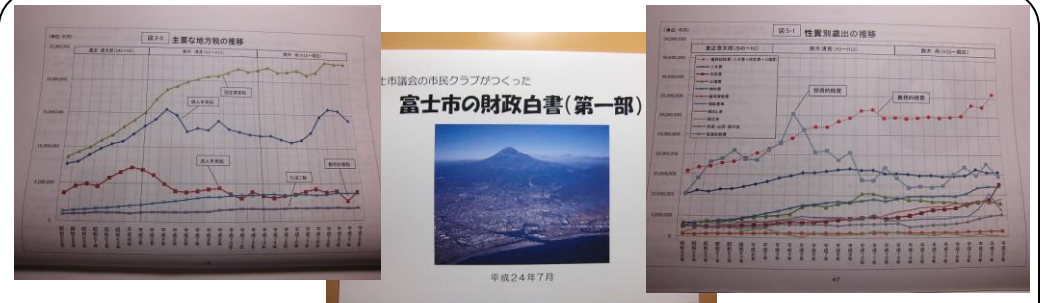
ダイナミックな生命力「一ツ山チエ」作品展 (7/6) ・ ・ 大淵にある富士芸術村で富士市在住の一ツ山チエさん(右写真奥)の作品展を見学しました。富士市ならではの「紙」にこだわり、新聞紙を使いさまざまな動物(もちろん人間も)を制作・発表し、そのダイナミックさ、伝わる生命力が注目されています。新進気鋭の女性芸術家です！



内山財産委員会で伊勢神宮宮域林を視察 (7/19~20) ・ ・ 伊勢神宮の裏山は、20年に一度、社殿を全て作り替える「式年遷宮」に備え、材料(柱や板)を供給するために大正時代から計画的に植林・育成されてきたヒノキの林=宮域林(けいいきりん)が拡がります。200年計画で直径1mの柱材を育てる遠大な取組みに脱帽しました！



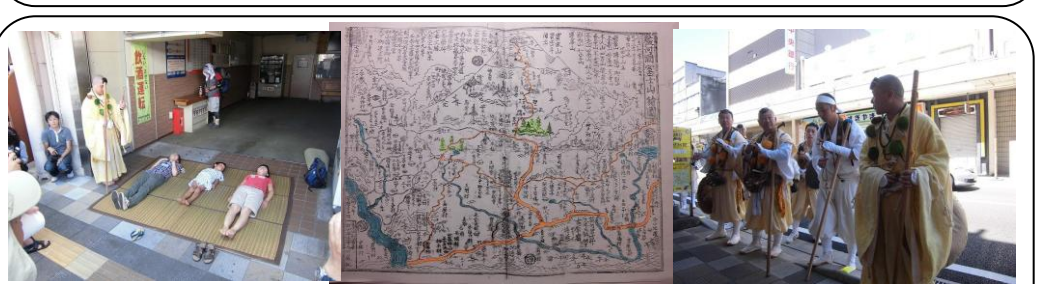
浜岡原発の再稼働を問う県民投票実現に向けた署名簿を提出 (5~7月) ・ ・ 5月から2ヶ月間、市内で署名を集め、選挙管理委員会に提出しました。審査の結果、富士市では16,933票、県全体で16万票余の署名が集まり、県議会に「県民投票条例案」が提案されました。しかし県議会はこれを否決、浜岡原発の安全性、今後のI初げ-政策という本質的な議論は少なく、「条例案の不備」に終始し、残念でなりません。



所属する会派・市民クラブで「富士市の財政白書(第一部)」を発刊 (7月) ・ ・ 昭和58~平成22年まで28年間の富士市の決算状況の推移をとりまとめた財政白書を作りました。さまざまな数字をグラフ化するといかに富士市の財政が「超優等生」だったかわかります。しかしここに来ての落込みと、今後の産業・雇用・税収の見通しが心配です。第二部では指標を基に、今後の政策提言まで行いたいと思います！



海上自衛隊の護衛艦「やまゆき」に体験乗船 (8/5) ・ ・ 清水みなと祭の一環で行われた体験乗船に参加しました。「やまゆき」(左写真)では富士川河口沖まで往復し、係留しているヘリコプター搭載型護衛艦「ひゅうが」(右写真、まるで空母のようです)の甲板にも上がりました。これらを本格的に使用することがないよう願うばかりです！



富士山修験道・富士峰入り修行 (7~8月) ・ ・ 7~8月にかけてTMO吉原が主催する「吉原本宿講座」で富士山修験道に係る「表口登山」の歴史を学びました。明治中期までは、吉原から修験道の拠点だった村山(富士宮市)を経て山頂に至るルートが主流だったそうです。最終回は、本物の山伏(修験者)の方々が富士山に入る復活した「富士峰入り修行」に合わせて行われ、商店街で加持祈授していただきました！



2年目の黄色いバンダナ大作戦・駿河台3丁目防災訓練 (9/1) ・ ・ 災害時に「我が家は大丈夫、他の家を助けて下さい」と意思表示する「黄色いバンダナ」の掲示率は、81.4%(昨年は75.5%)に上昇し、浸透してきたことが伺われます。今後も機会あるごとの広報と、繰り返しの訓練によって、実際の時に使えるようにしていきたいものです！



残暑厳しい中での今泉地区体育祭 (9/7) ・ ・ 前夜は今年の「富士山初冠雪」でしたが、暑い中の体育祭となりました。私も4種目に出場しましたが、それが悪かったのか我が駿河台3丁目は得点が伸びず、ここ数年のワースト記録?しかし皆さんケガもなく無事に競技を終え、払い(懇親会)でもなごやかに交流が続きました。来年こそは！



9月初旬の草刈り



ラジオfでPR (-7月、9月-)

雨で残念だった彼岸花ウォーク (9/23) ・ ・ 「そうだ!沼川プロジェクト」の取組みで準備していた彼岸花ウォークですが、雨のため泣く泣く中止に。昨年「土手10mの里親」を募り、賛同する皆さんとともに彼岸花の植付けや草刈りを行ってきました。7月にはラジオfに出演しPRしたり、9/15には同じくラジオfスタッフの皆さんとプレウォークしながら直前情報を放送したのですが! 本当に残念でした。しかし彼岸花はしっかり咲きました。今年は10/27(土)に植付けを行います。彼岸花オーナー(里親)に興味のある方は是非どうぞ！